

平高新聞

第5号

発行：長崎県立平戸高等学校教務部

平成25年8月27日

校長室から

国際交流の波紋



8月9日は終日、中部ふれあいセンターをお借りして、米国ネバダ州からの生徒たちと一緒に平和学習と交流会を行いました。

平和学習の様子は、翌日の「長崎新聞」、また早福荘のブログ「早福荘日記」にも取り上げていただきました。ステージの大型スクリーンに、原爆投下直後の長崎の様子を写したビデオを、英語の音声と日本語の字幕で視聴した後、祈念式典での田上長崎市長の平和宣言のTV放映を、みんなで心静かに聞きました。市長の「若い世代のみなさん、…あなた方は被爆者の声を直接聞くことのできる最後の世代です」の言葉を受けて、この日、山下護さんの被爆体験を聞いたことはとても有意義でした。アメリカの生徒たちにも、スクリーンに同時に表示された英文で、講演の概要は十分に伝わったと思います。

交流会では学年に分かれ、おもいおmoiの内容で楽しんでいました。

4泊5日の滞在でしたが、19名の生徒及び3名の引率者を受け入れていただいたご家庭には大変お世話になりました。受け入れ前の不安が嘘のように、すっかり打ち解けて楽しんでいただいた5日間だったようです。高校生はもちろん、「おじいちゃん・おばあちゃんや小さなお子さんたちにも、またとない良い経験・刺激になった」という声がたくさん聞かれました。

彼らの帰国後、仲介してくださった東島さんからメールをいただきました。彼らに日本滞在中の感想を聞いたところ、全員が「平戸が一番良かった」と答えたとのこと。「平高に留学したい」と言った生徒が2名もいたそうです。

因みに、東島さんは佐世保生まれで、幕末期の平戸藩の儒学者、楠本碩水のひ孫にあたられます。今回の国際交流は平戸のご先祖様のお導きだったように感じます。この波紋が大きく広がっていくことを願っています。



国際交流

8月9日におこなわれた交流会では、日本の伝統的なおもちゃや折り紙、レクリエーションを通してアメリカの生徒との親睦を深めました。



オープンスクール

8月6日(火)、オープンスクールを実施しました。今年度は、平戸市内の6つの中学校から、生徒61名の参加がありました。緊張した面持ちで大講義室に集まった中学生に、生徒会の生徒が中心となって、クイズ形式で学校説明を行いました。“校長先生は?”というようなユニークな問題なども出題し、指名された中学生は(事前学習をしていた?)うまく答えることができました。緊張した空気も和みました。

学校説明の後は3つの班に分かれ、“商業”“科学”“福祉”の3つの授業を体験。ちょっぴり早い高校生活を楽しんでいました。また、高校生に案内されて部活動も見学し、活動の様子に見入っていました。



科学



商業



福祉



9月の主な行事予定

- | | |
|----------|-------------------------|
| 9月 1日(日) | 第39回体育祭 |
| 9月 4日(水) | 進学説明会
(放課後 3年生徒・保護者) |
| 9月 9日(月) | オランダ留学生来校(終日) |
| 9月10日(火) | オランダ留学生来校(午前) |
| 9月13日(金) | 生徒会長選挙 |
| 9月14日(土) | 進研(3年)看護模試(3年) |
| 9月15日(日) | 進研(3年) |
| 9月16日(月) | 就職選考開始 |
| 9月20日(金) | ジョブガイダンス
考査時間割発表 |
| 9月21日(土) | 看護模試(3年) |
| 9月23日(月) | 全商情報処理検定 |
| 9月30日(月) | 2学期中間考査(～10/2) |

除草作業

8月24日(土)9時から有志のPTA、生徒、職員で、体育祭に向け除草作業を行いました。

今にも雨が降り出しそうな中、皆さんのお陰で、広い構内に生い茂った草も綺麗に取り除くことができました。ご協力ありがとうございました。



One for All All for One

～一瞬の輝き・一生の絆～

第39回 体育祭 9月1日(日)